

第3回 島嶼コミュニティ学会研究発表会

開場 12:30

開会挨拶 13:00~13:10

1. 八重山に集まった人々と物資の検討

——サンフランシスコ講和前後の刑事裁判記録を中心として

小池 康仁 (法政大学沖縄文化研究所) 13:10~13:40

2. 信教の自由とキリシタン集落——明治初期の熊本天草地方を事例に

内藤 幹生 (大正大学大学院修了) 13:40~14:10

休憩 10分

3. 行政主導型地域自治組織の組織化と運営をめぐる課題

——広島県呉市、島嶼部合併町を事例として

山田知子 (比治山大学) 14:20~14:50

4. 「聞き書き」の「島起こし」における可能性

——志々島 (香川県) での実践からの報告

土屋 久 (共立女子大学・順天堂大学)

伴場 一昭 (NPO 法人瀬戸内オリーブ基金) 14:50~15:20

5. 限界集落における緩やかな観光地化とその要因

——沖縄県宮古島市大神島大神集落の事例

堀本 雅章 (法政大学沖縄文化研究所) 15:20~15:50

休憩 10分

総括 16:00~16:45

閉会挨拶 16:45~16:50

日時: 2013年12月14日(土) 13:00~17:00 (受付 12:30から)

場所: 東洋大学6号館 6204 (会場) 6205 (控え室)

連絡: 東洋大学社会学部 松本誠一研究室 matsui@toyo.jp

資料代: 200円